

コード	103020119
記入日:	H22.5.31

事務事業途中評価表

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司貴英
担当者	坂田 満

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	町道奈摩内ノ畑線改良事業
----------	--------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 年度 ~ 平成 32 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	8		
施策コード	103	施策名称	しさを支える交通基盤づくり	項コード	2		
基本事業コード	10302	基本事業名称	安全で快適な道路整備	目コード	3		
事務事業コード	1030201	事務事業名称	単独事業費(道路)	細目コード	418		
関連計画	新上五島町振興計画	法令・条例規則等	道路法				

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標						
(対象1) 新上五島町が管理する道路の利用者 (対象2)		(対象指標1) 地区住民の数 20人 (対象指標2)						
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
改良延長 L=200m 幅員 W=3.0(4.0)m 全体事業費 20,000千円	改良延長 L=38m 幅員 W=3.0(4.0)m 事業費 4,903千円	改良延長	123 m	62%	改良延長÷計画延長	平成32年度		
		改良延長	38 m	146%		平成21年度		
(達成率分析)		本年度の計画延長は26mとしていたが完成は38mで改良延長L=123mとなった。						
*****		*****	*****	*****	*****	*****		
(達成率分析)								
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
本路線の周辺は、宅地造成が進められているが、造成地内の道路が未整備で有るため、改良事業により、住宅が建設される部分について整備を行い付近住民の生活環境の向上を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
		進捗率	9,693千円	48%	事業費÷全体事業費	平成32年度		
(達成率分析)		進捗率	4,903千円	98%		平成21年度		
		事業は計画どおり進んでいる。						
*****		*****	*****	*****	*****	*****		
(達成率分析)								

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① m	200	123	85	26	38					77
	②										
成果指標	① %	100	48	24	49	48					100
	②										
総事業費C(A+B)	千円	22,800	11,093	5,490	5,700	5,603					11,610
直接事業費A	千円	20,000	9,693	4,790	5,000	4,903					10,210
人件費B	千円	2,800	1,400	700	700	700					1,400
内訳	従事職員数	人	0.4	0.2	0.1	0.1					0.2
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円	18,900	9,100	4,500	4,700	4,600				9,700
	その他	千円									
一般財源	千円	3,900	1,993	990	1,000	1,003					1,910

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	道路管理者である町が行うべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	道路の安全性・利便性については、普遍的なものであり町が行う必要がある。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	住民生活の安全性・利便性を向上させるための事業であり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	事業の途中であるが、計画どおり事業は推進されている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	ほぼ計画どおり事業が進捗しているため特別向上させる必要はない。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	道路の安全性及び利便性の確保ができない。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	単一の事業であり、他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計となっており削減できない。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	現在の人員を削減することは事業の推進上できない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	道路管理者である町が行うべきもので受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	住民の利便性及び道路の安全性を向上させるための事業であり有効である。
		効率性	最小の経費で最大の効果をあげる設計となっており、今のところ経費を削減することはできない。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	住宅建設に追従して造成地内の整備を実施せざる得ないが、住民の住環境のうえからも生活に支障のないよう事業を進めていくこと。
		効率性	事業経費の執行については適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。